

## 戦争体験証言ビデオ

001

NO.	証言者	タイトル	立場	解説	時間
1	松村 真砂子	愛楽園のリーダーとなり避難壕づくり	愛楽園で病気療養中	10・10空襲の時は砲弾が雨のように降り注いできた。リーダーとして年寄りの面倒を見ないといけなかったが、その日一度だけその人たちを置いて一人壕に逃げ込んでしまい呵責の念にかられた。その後はアメリカ軍の捕虜となった。	8分20秒
	嘉数 弘子	愛楽園の子供たちの母親代わり	愛楽園の教師	結婚して子供が1歳になるころ(20歳代)に発病し、愛楽園に入る。教師の経験があったので子供部屋に入り、算数などを教えたり、母親代わりとして面倒を見たりした。	7分24秒
	宮平 カズオ	炊事班と壕掘りの日々	ラッパ隊を発病で除隊	ラッパ兵をして出征していた20代のころに発病して除隊。当時では自殺も懸念され人が付くほど、大きなショックを受ける病気。生まれ島沖繩の愛楽園に入り、炊事に関わる。空襲で一棟残らず焼かれるなど。	7分28秒
2	平良 清蔵	防空壕のおかげで助かった命	大工見習	愛楽園の工事で大きな療養所を建てる大工の弟子として参加。その数年後、20歳前に発病して愛楽園へ。炊事など、いろんな作業に関わる。10・10空襲で園の建物はほとんど焼ける。英語の達人な人がいたおかげで随分助かった、など。	7分51秒
	伊佐 元長	召集令状時にハンセン病を発病	木材会社勤務	男兄弟は戦死。妹は看護婦で勲章をもらうほど。27歳の時まではとても元気だったので、発病が分かった時は絶壁から落とされるほどのショックをうける。その後愛楽園へ。爆撃でも大変だったが、壕掘りで手足をなくした者も多かった、など。	8分12秒
	伊良皆 ハル	空襲が来たたら病人を担いで壕へ	沖繩愛楽園寮長	12歳で発病し、周囲から嫌われ苦労する。22歳の時に愛楽園に入り、懸命に働く。病人の世話をし、空襲のときは壕に避難させる作業をした。	7分13秒
3	安里 ユリ	愛楽園初日から壕掘に参加	愛楽園で病気療養中	兄弟は皆ほとんど戦争で亡くなる。結婚後の27、8歳の時に発病して悩んだ末、夫や子供と別れて愛楽園へ。当時ハンセン病は家族から一人でも出たら誰も付き合ってくれないほど嫌われる病気。愛楽園では壕掘りで土運びをさせられた。空襲の恐ろしかった思いは忘れることができない	2分5秒
	又吉 文	ひたすら防空壕での生活	愛楽園で病気療養中	家族の中で一人だけ11、2歳の時に発病。その後は周りから遠ざけられ、ずっと一人で自殺未遂もするほど悩んでいた。愛楽園には21歳の時に入る。そこで壕掘りをさせられ、中には壕掘りでケガをしてそこからばい菌が入り、亡くなる老人もいた。	6分35秒
	糸数 宝善	愛楽園の復興作業に従事	愛楽園で病気療養中	16歳の時に愛楽園が設立され、入り、防空壕掘りなどをする。10・10空襲で敵機に攻撃されたがどうにか免れた。米軍の降伏勧告を受けた時、差し違えて死のうと周囲は覚悟したが、病友の冷静な判断で生き延びることが出来た。	9分44秒
4	渡島 悦子	飛行機に追われて飛び込む防空壕	愛楽園で病気療養中	戦争が始まったので男も女も園の皆で壕掘りをした。出張先で飛行機に追われ壕に避難しようとしたが、入れてもらえなかった、など。	4分38秒
	知花 重雄	防空壕掘の最中に10・10空襲	愛楽園で病気療養中	トイレも水も飲めない状態で防空壕を掘る毎日だった。5月にはアメリカ軍がやってきて平和になり、食糧事情も良くなった。	6分36秒
	平良 千代	一日中鳴り響く爆撃音	愛楽園で病気療養中	次から次へと戦闘機がやってきて空襲は1日中続いた。* 1日に3個のおむすびしか食べる事が出来ず、男の人等は大変苦しい思いをした。食糧事情は深刻で、中には栄養失調で亡くなる人もいた。	7分27秒
5	内間 安仁	母と妹が爆弾に	幼年期	当時6歳。11歳を先頭に乳飲み子を含め家族5人、艦砲の中を逃げ回ったが、母、兄、妹は爆弾にやられてしまった。*	8分43秒
	小底 秀雄	空爆で親戚の兄弟が犠牲に	幼年期	黒島が一番安全だと思われていた壕で、親戚の若い兄弟が空爆でやられてしまった時の事を思い出すと今でも胸が痛む。戦後の少量難ではソテツばかり食べていた。	5分22秒
	天久 佐信	弾を抱えて爆撃機に乗る人間魚雷の兵隊	鹿児島で病気療養中	戦争も終わりに近づいた頃、6・7メートルもある爆弾を抱えて鹿屋から沖繩へ向かって飛んでいく爆撃機を見るようになった。兵隊の家族があれを見るとしたらどんな気持ちになるだろうと切ない気持ちになった。	13分4秒
6	松岡 和夫	昭和22年マッカーサー元帥に嘆願書提出	鹿児島で病気療養中	昭和22年、沖繩がアメリカに占領されたら帰ることが出来ないということで、署名運動をしてどうにか沖繩に帰る事ができた。愛楽園は爆弾でできた穴だらけだった。	8分41秒
	大城 義雄	何百発も弾を撃つ米兵	門司海運局沖繩支所	糸満を逃げ回っていて、避難できる壕が探せなかったため豚小屋へ避難した。捕虜になり、抵抗した日本兵に必要以上に弾を打ち込むのを目撃し、戦争の醜さを感じた。	6分20秒

## 戦争体験証言ビデオ

002

NO.	証言者	タイトル	立場	解説	時間
	大城 見教	兵隊も民間人も同じ壕に避難・負傷者を診察	国民学校 4年生	父が医者だったので軍医の手伝いのような事をしていた。最初の頃は南部にいたが捕虜になっては北部に移動した。*	8分44秒
7	高良 健二	スパイ容疑の恐怖	県立二中生	ハーモニカを学友と吹いていたら、スパイの暗号と間違われた。学生時代は軍国主義一色で、各中学校の間では自分の中学校から何名が陸軍士官学校や海軍兵学校に入学したかとか競い合っていた。	7分13秒
	金城 静子	避難生活の日々	主婦	祖母の身体が不自由だったため疎開はせずに沖縄に家族4名残った。小さな子供がいたのでひとつの壕にとどまらず、いくつか渡り歩いた後、捕虜になった。	6分50秒
	金城 千代	「女物の着物をくれ」と言った日本兵	主婦	家族と離ればなれになり、具志頭で幌になった2人の息子は破傷風と栄養失調で亡くなっていた。日本兵の2人が戦場では女の着物は縁起物だと言って、身を隠すために女物の着物を貰っていた。	3分14秒
8	又吉 美恵	防空壕掘をした戦争体験記	沖縄師範学校 女子部	師範学校女子部予科1年の時に、軍作業が始まった。小禄飛行場での排水溝掘りを始めとし、ガジャンピラで高射砲台の土盛をするなど戦争のために動員され、ほとんど勉学どころではなかった。	7分45秒
	大見謝 英子	一高女合格の喜びが・・・	一高女入学直前	一高女合格の喜びも束の間、米軍が上陸した。避難した南部の壕で迫撃砲で目をやられて、見えなくなってしまった。避難中に手足のない日本兵に水を飲ませてくれとお願いされ、友人と一升瓶に水を汲み、口元においてまた避難した。	5分29秒
	當銘 政一	空腹のやんばる山中彷徨記	小学校2年生	南部から貨物列車で嘉手納まで移動し、徒歩でやんばるへ疎開は厳しいものだった。捕虜になり、砂浜にある仮設の学校で過ごしていると、アメリカ兵がやって来て日本が戦争に負けたと伝えた。8月15、6日ぐらいであった。	12分24秒
9	吉嶺 全一	母と祖母を守って摩文仁へ	小学校6年生	摩文仁の壕に避難中、食糧探しに出た時、知らずに何度も死体を踏むことがあった。米軍の投降勧告を聞きながら死の恐怖を経験した。*	7分9秒
	喜屋武 米子	目の前で父が即死	国民学校 3年生	摩文仁へ行った時、妹がお腹がすいたと泣いていると兵隊がやってきて、「継ぎ泣いたらこれで殺しなさい」と父は銃を渡された。そして避難して隠れていると、目の前で父が被弾し、即死した。	5分10秒
	伊波 孝徳	南洋サイパンでの戦争体験	南洋興発附属 専修学校	米軍が迫る中、学生たちにも敵前の食糧運搬を命ぜられた。艦砲射撃でほとんど全滅し、生き残った者は手榴弾で自決した。	9分43秒
10	前川 トヨ	疎開先の大宜味村で村民に助けられる	主婦	糸満市の新垣から子どもを連れて北部に疎開した。嘉手納までは軽便に乗り、それ以降は徒歩で五日歩いた。その間行く先々で地域の婦人会の人たちからおにぎりをもらった、など。	6分33秒
	座波 アキ	主人と離れて妊娠5ヶ月で熊本へ疎開	主婦	主人が兵事課にいたので先に疎開に行く事になった。熊本へ着くまでの4日間は潜水艦に追われて死をも覚悟した。疎開先では農家の手伝いをしていた。主人の行方は今も分からない。	7分48秒
	森山 紹一	悔やまれる弟の戦死	南洋興発	サイパンでの生活。爆風で鼓膜をやられ泣き叫ぶ赤ちゃんを日本兵に言われて窒息死させるのを見た。学徒兵に応募した弟が、配属先のテニアンから帰ってきたおり、「国のためにつくせ」と追い返し、今生の別れになった事が悔やまれてならない。	6分29秒
11	牧港 篤三	鉄の暴風	沖縄朝日新聞社 勤務	3月、全ての新聞社が師範学校生の掘った首里城近くの壕に移動した。軍の報道配員として徴用され、新聞社のある壕から軍司令部壕へと毎日通った。壕内では印刷機を回して新聞を発行し続けたが、5月25日に牛島中将司令官から解散を言い渡され、首里から避難した。	5分12秒
	外間 博	防衛隊での爆弾運搬、防衛隊召集、暁部隊	与那原の防衛隊	一緒に弾丸等を運んでいた仲間は18才程の子ども達だった。運搬してきた積荷を降ろすのもひと苦労だった。	2分13秒
	平識 りつ子	疎開児童の引率	読谷尋常小学校 教師	当時主人は27歳か28歳。一番若いという理由で主人が疎開児童の引率に命令され、家族で疎開船に乗ることになった。対馬丸に乗る予定だったが、生徒達の集合がおくれた為その後の船に乗った。	5分11秒
12	喜友名 豊子	自決した女子挺身隊員、石部隊爆薬運搬	中飛行場で徴用	兵隊同様死んだら放っておかないし、靖国に祭る、ということで、死ぬのは全然怖くなかった。負傷したが、足を切られて助かった。しかし相談も無く足を切られたのがショックで、死んだ方がマシと思った、など。	7分55秒

NO.	証言者	タイトル	立場	解説	時間
	高良 鉄夫	防衛召集ドラム缶を鉄兜に 白保飛行場の設営	配属将校	506大隊は大部分が補充兵や国民兵の召集なので親子と一緒に居たりする隊だった。戦争が激しくなると、半強制的にマラリヤ地帯に避難移住させられた、など。	4分43秒
	島袋 哲	戦争への絶え間なき問いかけ、 尼崎での徴用	岡山大学 医学部在学	岡山での空襲、軍事教練の目的など。10・10空襲後、父母の生死が分からなかったが、悲しく思わなかった。家族に兵隊がいないことに肩身が狭かったため、むしろ家族から戦死者が出たなら国のために尽くせたような気がした。	5分38秒
13	座波 喜美子	忘れられない戦争と疎開	5年生 熊本疎開	祖父が疎開に反対。夜中に隙をみて母子四人で船場に向かうが、途中で祖父に気付かれ、跡取り息子の弟を取られた。疎開先は熊本県。母が働いていた農家の人たちからは親切にもらった、など。	6分29秒
	比嘉 誠春	戦争体験記、 石部隊有線通信隊	農林学校 3年生徴用	島尻のあたりは水が豊富で、アメリカはそれを心得ていて、水汲みしそうな水のあるところは非常に人が死んだ。狙い撃ちだった。夜になると日本兵は急造爆雷を担いで出て行き戦車に突っ込んでいた。	7分28秒
	嘉味田 朝俊	台湾第4部隊での体験	台湾部隊へ召集	下士官候補の終わりごろ、これまでの訓練の成果として、人を刺すよう命じられた。震えながら刺し、帰ってきても眠れなかった。	3分44秒
14	島袋 房子	戦争体験者の一人として	第一高等女学校	爆撃の中を泊から摩文仁へ避難時の恐怖は半世紀後の今でも忘れられない。米軍の女性の声のアナウンスで投降を呼びかけられた。中には海に飛び込む人もいたが、父が枝の先に禰を付けて投降すると後ろからたくさんの人たちがついてきていた。	4分21秒
	比嘉 ハル	初子の娘を失い断腸の思い	主婦	1才の子供を栄養失調で亡くし、米軍の捕虜になる。	1分23秒
	比嘉 浩	教師の戦争体験	農林高校教師	農林学校の教員として生徒を動員して壕掘り等に従事した。全県下の学生は動員され、鉄血勤皇隊と呼ばれた。	5分28秒
15	金城 敦子	教師の戦争体験	教師	夫婦で朝鮮人学校の教師として優遇されたが、敗戦後、女性などはロシア人に捕まるとどこかへ連れて行かれ、一緒にいた人がどんどん減っていった。ロシア軍を恐れて道なき道を逃げ惑った。	5分12秒
	喜友名 朝昭	鉄血勤皇隊員	開南中学校生	米軍の捕虜になり尋問を受けた。18歳から44～48歳くらいまでの人が集められた収容所では、運搬や戦死した米兵の死体処理等の作業に従事させられた。	8分12秒
	瑞慶覧 長徳	役場職員の戦争体験	入隊兵	西原村運玉森が米軍の手に落ちた後、米軍はブルトナーで道路造りをしていた。それを横目に書類などを壕の奥に隠して家族と島尻へ避難した。避難した具志頭で義兄が死んでいく様子を看取る姉と子どもたちの顔が、今でも夢の中に出てくる。	6分3秒
16	真栄城 昭子	首里から摩文仁へ	家事手伝い	迫撃砲で弟を亡くし、母は行方不明で生き別れとなった。収容所からいるんな場所に手紙を書いたが、返事はなく、その後金武で埋葬されたと聞き、南洋から戻った姉と探しに出かけたが探せなかった。	4分38秒
	大城 英男	役場職員の戦争体験	豊見城村役場勤務	役場の資料を入れている壕掘りをしている時に艦砲射撃だけがを負う。避難する道筋には真つ黒焦げの死体がたくさん転がっており、糸満の名城で艦砲射撃に遭い母と姉を亡くした。	5分26秒
	宮城 幸三郎	真部山から重傷で国頭へ 逃避行	兵隊	負傷した兵は集められて仮小屋のようなところに集められた。しかし友軍は負傷した兵が足手まといになると、何も言わずに置き去りにしていった。その後は3、4名で北部山中を逃避行。	7分6秒
17	金城 政信	徴用人夫と朝鮮人軍夫	東村の製材所勤務	東村で陣地構築用の資材と木炭運搬の重労働に北部から多くの人が徴用され、朝鮮のスイキン隊と呼ばれていた軍夫も投入された。	7分49秒
	仲元 盛功	横須賀海軍水雷学校	運転手助手	横須賀海軍水雷学校での訓練を終え、四国小豆島に配属される。終戦後、沖縄に帰ると荒れ果てた故郷の姿に愕然とした。	7分31秒
	仲地 和雄	私の戦争体験記、 監視哨隊員	監視隊員	機械に頼らず、人間の五感を使った監視隊員としての訓練は厳しかった。敵機が襲来した時に、本部に通報したが空襲警報が出なかった。もし信用して空襲警報を出していれば多くの人が犠牲にならずにすんだかもしれない。	5分40秒

## 戦争体験証言ビデオ

004

NO.	証言者	タイトル	立場	解説	時間
18	上原 豊子	チビチリガマ集団自決の様子	読谷国民学校2年生	家族がクリスチアンだったため、アメリカ人に敵意は感じなかった。壕の前で米兵が出て来るように言った時、チビチリガマで自決がはじまったようだ。	2分34秒
	川上 雄善	死の恐怖を生き抜いて	中飛行場の防衛隊	米軍の上陸作戦のための艦砲射撃が始まり、家族に最後の別れを伝えに言えに戻った。子どもを抱き、妻に別れの言葉を伝えしたが、年老いた両親には言えなかった。	4分34秒
	中村 文子	疎開先での体験	川崎大島国民学校教師	住んでいた川崎から熊本へ疎開する出発2日前に空襲があり、準備していた荷物や家財道具が全て燃えてしまった。	6分48秒
19	兼城 賢清	満州引揚の避難体験	満州開拓団	満州開拓団として大陸に渡ったが、終戦直前に兵隊に召集された。敗戦後はソ連の捕虜となった。	7分21秒
	長嶺 由博	東村有銘への避難体験	国民学校5年生	食糧不足で飢え死にした住民を目撃し、戦争時の人間の薄情さ異常さを強く感じた。	5分9秒
	宮里 真厚	少国民の戦い、乙羽岳燃ゆ	国民学校5年生	米軍上陸の知らせを受けて、本部から今帰仁を逃げ惑い、精糖工場あたりで米軍の偵察隊を間近に目撃して恐怖におののく。	5分49秒
20	小橋川 直	ペルー二世の従軍体験	兵隊(華南作戦参加)	仏領印度支那(ベトナム)で歩兵として従軍し、終戦を迎えた。英国軍の捕虜になり、タイの飛行場での作業に従事させられたが、日本の軍隊よりは厳しくはなかった。	6分36秒
	城間 期一	学徒隊の一員として	鉄血勤皇隊	首里から島尻へ移動中の壕内で、米軍の爆撃により約50人の日本兵の爆死を目撃した。最後まで生き残ったのは2人だった。	5分13秒
	新垣 栄一郎	無線操作員として	首里受信所操作員	通信員として従軍し、アメリカの短波放送から日本軍の不利な戦況を知る。米軍が首里に接近すると通信機器を全て破壊し、島尻へ撤退した。	5分44秒
21	比嘉 重友	砲兵隊として	鉄血勤皇隊	緊急学徒勤労働員工作要項により卒業が早められ、東風平の野戦病院に配属された。伝令要員として、急造爆雷を持って敵襲突破の命令を受けた。	7分8秒
	與座 章健	鉄血勤皇隊員を除隊して	県立一中生	食糧不足のため鉄血勤皇隊を除隊になって、家族と共に島尻へ避難した。	7分52秒
	大城 勲	軍国少年として	県立一中生	卒業式の日に入隊し遺書をしたためた。当時は第一線要員に選ばれたことを誇りに思う軍国少年であった。南部の地理に詳しいため、首里から島尻への道案内要因となった。	5分9秒
22	大城 栄進	大宜味村防衛隊	伊江島で工場経営	大宜味村の防衛隊員として壕掘などに従事した。米軍の北進にともない、山中で住民と3ヶ月の避難生活の後に下山した。	6分9秒
	金城 光栄	糸満防空監視哨のきろく	防空監視所員	米軍の慶良間上陸後に糸満住民に食糧を配布したり、避難誘導等に従事した。	7分19秒
23	安谷屋 ヨシ子	第3外科壕の看護婦として	陸軍病院看護婦	米軍の黄燐弾を被弾したが一命を取り留めた。糸満の伊原あたりをさまよっている時に米軍の捕虜となった。	4分15秒
	宮里 美恵子	集団自決から生き残って	主婦	玉砕するから集まれと伝達が来たが、集合場所にはほとんど誰も集まらなかった。仕方が無いので防空壕に戻って一晩を過ごしたら、何百人ものアメリカ軍に囲まれていた。	4分22秒
	柴田 収二	阿嘉島での切り込み隊	通信隊	広島から極秘裏に出航し、沖縄へ到着。阿嘉島へ通信小隊長として配属された。慶良間海峡は米軍の激しい攻撃を受け、風前のともし火であった。3月26日ついに牛島司令官への玉砕電報を打電すると、「奮闘を祈る」との返信があった。	8分8秒
24	大浜 徳一	平得飛行場の近くに住んで	国民学校生	飛行場建設の様子。避難所でマラリアにかかり家族2人を失う。	3分25秒
	多和田 ノブ	生き地獄の島尻	主婦	戦闘で父と母を亡くし、幼子を抱えて逃げ回る。捕虜になってどうにか生き延びたが口では説明できない程つらい日々であった。	3分11秒
	比嘉 定清	北部への避難	農兵隊	若い男の人は殆ど兵隊に取られたので一時的に農兵隊を結成した。避難の途中でお年寄りや女の子の人等、民間人の被害が出た。	5分35秒
25	野原 カメ	愛児の死	主婦(農業)	薬も分けてもらう事はできず、愛児は明け方亡くなった。甥に埋めてもらったが、その甥も宜野座の野戦病院で亡くなった。	2分50秒
	中村 キク	父母と妹、弟を戦争で亡くして	女子師範学校	戦争で10人いた家族が4人だけになった。	6分32秒



NO.	証言者	タイトル	立場	解説	時間
	銘刈 春福	義勇隊員での体験	玉城国民学校	隣にいた人が生きてるか死んでいるか誰もかまわない、それが戦争というものだと実感した。佐藤伍長という人にとっても可愛がってもらったが、米軍にやられて亡くなってしまった。	4分57秒
26	平良 新亮	台湾で補充兵になる	陸軍第四部隊	台湾で軍属として徴用され通信隊に2~3年いた後、除隊になったが、すぐに兵隊として召集された。	4分6秒
	与那覇 カ子メガ	マラリアで三女を亡くす	主婦(農業)	食べるものも無く栄養失調で死ぬ者がたくさん出て、殆どの人がマラリアにかかった。医者もおらず、三女もマラリアにかかり死亡した。	3分39秒
27	宮城 秀一	三中鉄血勤皇隊として、喜如嘉収容所	鉄血勤皇隊	家族はみな山へ避難しているの時に学校から召集令状が届いた。戦場で、母親を亡くした赤ちゃんののためにお米を分けてあげたら、鯉節の塊をもらい、人間の暖かさを感じる事ができた。	4分21秒
	根神 よし子	津堅島での補助看護婦の記録	高等女学校	補助看護婦として研修を経て戦地に向かったが、戦場では習ったものは殆ど役に立たず、薬さえないありさまだった。	5分3秒
28	阿波根 昌鴻	十・十空襲、捕虜になり慶良間島での生活		伊江島で捕虜になり慶良間へ移された。しかし食糧不足がひどく、石川にある民政府へ渡嘉敷村長と陳情しに行き、どうにか食糧を手に入れることができ、慶良間にいる住民は飢えを免れた。徴兵され戦死した一人息子の死が、平和運動をするきっかけとなった。	45分
29	VHS	やーさん ひーさん さんからーさん ~集団疎開学童の証言~		もう一つの沖繩戦。それは、国と日本軍との命令で危険な海をわたり、知らない土地へ集団疎開させられた引率教師と学童たちとの戦いである。米軍の魚雷攻撃で、犠牲になった対馬丸の学童たち。攻撃を逃れた学童たちの九州での疎開生活も、日々、苦難の連続だった。	41分
30	DVD	【通常版】			
31	DVD	やーさん ひーさん さんからーさん 【ダイジェスト版】		”	
32	VHS/DVD	そしてぼくらは生き残った		米軍撮影の記録映像。捕虜になった住民の収容所での生活の様子が写されている。	60分
33	DVD (DVD-RAM)	「強制集団死(集団自決)」に関わる証言映像		<p>① チビチリガマ集団自決の様子(上原 豊子) ……避難したチビチリガマに米軍が投降勧告に来た。すると集団自決が始まり、家族同士が殺しあう惨劇を目の当たりにする。元タクリスチャンであったため、戦前から外国人と接する機会があり、噂にあるように米兵が住民を虐殺するとは思っていなかった。母は父から子どもたちを守るようにと言われていたので、必死で守ってくれた。</p> <p>② 集団自決から生き残って(宮里 美恵子) ……避難した壕に「自決するから忠魂碑前に集合するように」と勧告が来た。行ってみると砲撃が激しかったので誰も来なかった。米軍の捕虜になってから米軍に虐殺されると思い、どうせ自分たちは死ぬのだから他の知り合いの人たちがいるところへ行かせてくれとお願いした。</p> <p>③ 集団自決に反発し生き残る(上洲 幸子) ……山の上から海を見た時、水平線いっぱいに米軍の戦艦がずらりと並んでいるのを見て生きた心地がしなかった。母親がネコリン(殺鼠剤)を飲んで家族みんなで自決しようとしたが、死にたくなかったので説得してどうにか免れた。またその後山中であった友軍兵に、母親が家族をみんな殺してくれとお願いしたが断られた。</p> <p>④ 集団死の現場にて(宮城 恒彦) ……26日の早朝に、壕の中に子連れの女の人に来て米軍が上陸してきたと言った。そこで壕にいた校長先生が皆で自決しようということになった。1人の教師が手榴弾を持っており、姉とその教師の間で爆発させたため、二人だけが犠牲になった。収容所に入っている人たちが、米兵はやさしいというのを聞いて捕虜になることを決めた。</p> <p>⑤ 集団死の地獄を生きて(中村 八重子) ……軍が島に駐屯してからは、陣地壕作りに動員された。男手はみんな南方に行っており、女と子どもしかいなかった。26日に米軍が上陸し、夕方から激しい砲撃が始まった。山に避難し、みんなで自決しようとしたが、何も道具がなかったので、首を絞めて死ぬしかなかった。</p> <p>⑥ 渡嘉敷島での女性から見た戦争(内原 静子) ……子どもを連れていたため、避難した壕では、子どもが泣いたりするので嫌がられた。ウンナガーラに避難した時に、捕虜になると虐殺されると聞き、自決しようとした。そこで自分の子どもも殺してくださいと他の人をお願いした。捕虜になり座間味島へ行った後、島に残りたいとこがスパイ容疑で殺されたことをあとで聞いた。</p> <p>⑦ 渡嘉敷島での戦時日記(崎間 義郷) ……23日に艦砲射撃があり、校長と二人で書類を壕に移す作業をした。避難したウンナガーラに友軍が来て、北山(ニヤマ)へ移動するように言われた。そこに着くと親戚同士が円になり、防衛隊が持っていた手榴弾で自決し始めた。避難している最中には、着弾が遠いのか近いのかを聞き分けられるようになった。</p>	43分31秒

NO.	証言者	タイトル	立場	解説	時間
平和のウムイNo.01	①上原 春江 ②辺土名 貞子 ③高良 正勝 ④富名腰 朝輝 ⑤宇地原 徳一 ⑥平良 文子 ⑦上原 美智子 ⑧内間 清子 ⑨内間 宏	平和のウムイDVD No.001-009		①死んだ人を踏みつけて逃げたこと…11分52秒 ②肉親を助けようにも助けられなかった辛さ ～平和が一番いいさ～ …11分37秒 ③背中を魚に噛まれて漂流 ～対馬丸、戦争のことを理解して～ …15分18秒 ④「ナチブサー(泣き虫)と言われても」～これは泣くのが当たり前だからね～ 11分42秒 ⑤人間の理性を動物にする戦争 ～教育が大事～ …11分54秒 ⑥サイパンで目にした悪夢のような惨いこと おばあちゃんの話をもみんなに広めて欲しい～ …9分57秒 ⑦盗まれた握り飯(人間性が失われる戦争) ～平和のために、友と、地域と、世界と仲良く～ …14分12秒 ⑧伊江村民の収容所での暮らしについて 10分49秒 ⑨学童疎開で味わった戦争 ～伊江島の人々の哀悼～ …13分22秒	123分55秒
平和のウムイNo.02	①金城 福一郎 ②園原 繁 ③濱崎 清昌 ④與那城 雪子 ⑤保志門 幸子 ⑥瑞慶覧 長方 ⑦瑞慶覧 カツ ⑧森田 静子 ⑨新田 實 ⑩新田 邦子	平和のウムイDVD No.010-019		①運命に導かれるまま郷里を守るために歩き続けた ～助かった命、子々孫々忘れずに～ …13分12秒 ②骨がほとんど入っていない遺骨箱…12分6秒 ③結局、生きる、生きないもその人の運なんだよね…9分44秒 ④移民先のパラオ諸島から逃れて…11分28秒 ⑤重傷の日本兵を涙ながらに壕から追い出した…10分29秒 ⑥投降しようとする民間人を虐殺…16分16秒 ⑦祖父の決断で助かった命…11分28秒 ⑧サイパンで父も母も亡くなり、奇跡的に生きのびて…11分06秒 ⑨台湾から広島、熊本、そして沖縄へ…12分35秒 ⑩誰もみ状態で墜落する飛行機を見て…11分08秒	119分32秒
平和のウムイNo.03	①久保田 千代子 ②新開 梅子 ③畑 ツル子 ④高江洲 さよ ⑤伊波 孝眞 ⑥我謝 芙美子 ⑦我謝 猛 ⑧赤嶺 光子 ⑨島袋 増善 ⑩新垣 徳康	平和のウムイDVD No.020-029		①目の前で見た慰安室 …11分44秒 ②きれいな草むらに両親を横たえて …10分31秒 ③捕虜収容所で看護婦として働きました …11分2秒 ④たまたま乗り遅れた対馬丸は沈んでしまった …10分19秒 ⑤空襲で那覇の街が真っ黒に …12分52秒 ⑥戦地でも栄養豊富な食べ物を食べられる国と、資源のない小さな日本がなんで戦争をしたのかっていつも思うよ …11分3秒 ⑦生存を諦めていた父との再会 …10分13秒 ⑧二人の兄ははまだ消息不明 …11分18秒 ⑨紙一枚で徴兵される事への憤り …12分34秒 ⑩生き残るために我が子を仮死状態に …11分0秒	112分34秒

NO.	証言者	タイトル	立場	解説	時間
平和のウムイ No. 4	①津嘉山 信子 ②米須 千代子 ③大宜味 チヨ ④大宜味 朝俊 ⑤安里 利子 ⑥島田 つる子 ⑦宮里 初子 ⑧中村 輝子 ⑨糸数 常子 ⑩福原 兼吉	平和のウムイDVD No.030-039		①血を流して横たわっていた母を忘れられない …9分29秒 ②厳しい道程となった島尻への避難 …9分45秒 ③へびよりも芋を落として無くすことが怖かった …8分52秒 ④無駄に命をなくす戦争を起こさないように …11分18秒 ⑤米兵からも日本兵からも逃げてお墓で暮らした …7分28秒 ⑥食べ物に困らなかった地元での避難生活 …9分37秒 ⑦食料を捨てて着の身着のまま逃げた山道 …9分5秒 ⑧母と叔母に背負われての避難 …6分12秒 ⑨台湾で知った沖縄戦と広島・長崎への原爆投下 …6分37秒 ⑩戦地には行かず、飛行場の整備士として働いていました …7分17秒	85分40秒
平和のウムイ No. 5	①與儀 弘 ②西銘 清子 ③赤嶺 トヨ ④大城 藤六 ⑤金城 重雄 ⑥安次富 美代 ⑦上原 繁雄 ⑧仲間 保夫 ⑨玉城 信江 ⑩喜久山 文子	平和のウムイDVD No.040-049		①パラオに渡った家族、沖縄に残った祖母も亡くなり孤児に …9分45秒 ②久高島からサバにて避難しヤンバルへ …6分45秒 ③ヤンバルで受け入れてくれた集落の人々に助けられた …8分35秒 ④子どもと年寄りが、戦争では一番犠牲になるさ …9分26秒 ⑤戦争は愚かなもの、それはわかりきったこと …8分30秒 ⑥日本兵と行動(避難)を共にして …10分5秒 ⑦戦時中は全ての出来事が大変だった …7分43秒 ⑧山の中を逃げ回り、木の根っこもかじって食べた …7分48秒 ⑨幼い弟妹を抱えた両親と一緒に、転んでも必死で逃げた …9分40秒 ⑩姉として幼い兄弟を連れて戦火を逃げ惑う日々 …8分	86分17秒
平和のウムイ No. 6	①玉城 利枝子 ②當銘 文 ③大城 ヨシ子 ④伊差川 正哲 ⑤宮城 宏茂 ⑥松本 利次 ⑦名嘉真 芳子 ⑧仲村 トキ ⑨吉田 永昌 ⑩高江洲 朝順 ⑪桃原 加寿子	平和のウムイDVD No.050-060		①子どもなのに「ひと思いに死にたい」と神に祈るしかなかった …9分51秒 ②子どもを捨てようとした南部への厳しい避難 …9分20秒 ③戦争はするものではない。それに尽きる …9分58秒 ④住民を全部巻き込んだのが戦争 …10分3秒 ⑤真志喜の壕のおかげで助かった命 …5分27秒 ⑥ご飯がない、寒い、寂しい …5分8秒 ⑦避難民は戦中も戦後も恐怖に耐えるだけ …8分55秒 ⑧祖母と祖父をお墓の中に残して南部へ逃げた …10分2秒 ⑨壕に手榴弾や毒ガスを投げ入れられた …9分45秒 ⑩直前で取りやめた対馬丸での疎開 …9分51秒 ⑪摩文仁の山で亡くした友人を引きずって麓まで …11分42秒	100分2秒

NO.	証言者	タイトル	立場	解説	時間
平和のウムイNo.7	①玉城 トミ子 ②大宜味 ハル子 ③西川 ウメ ④中村 英雄 ⑤石原 昌盛 ⑥備瀬 善勝 ⑦平仲 正治 ⑧金城 貞子 ⑨平田 由美	平和のウムイDVD No.061-069		①負けるとも思わず、自決が良い道だと思う人も …9分21秒 ②いくさは人間が人間じゃなくなる …11分40秒 ③看護婦として見た沖縄戦と、母に救われた命 …7分50秒 ④物を奪い合うケンカをやめることから平和をつくっていく …10分 ⑤長崎の軍事工場に徴用されて …11分36秒 ⑥当時5歳でも、戦争が強烈なものだったから今でも覚えている …10分40秒 ⑦砲弾を受けながら奇跡的に助かった命と母親との別れ …14分6秒 ⑧終戦を知らずに9月まで山奥に …9分 ⑨生まれたのは東京大空襲の直前で奇跡的に助かりました …7分17秒	91分30秒
平和のウムイNo.8	①平田 正代 ②眞栄城 政子 ③新里 ツル ④仲本 賢吉 ⑤小俣 敏子 ⑥中村 孫吉 ⑦中村 トヨ ⑧比屋根 トミ ⑨宮平 初子 ⑩西銘 恵	平和のウムイDVD No.070-079		①東京大空襲の体験と終戦直後、沖縄に戻ってきて …10分16秒 ②食べていだけで必死な毎日 …4分44秒 ③家族を亡くし、苦労して生き抜いた沖縄戦 …9分39秒 ④目の前で消える命を何度も目撃して …10分43秒 ⑤日本兵から「いつか使う日が来るよ」とお金を渡されて …9分00秒 ⑥親を亡くした赤ちゃんや、道端に捨てられたお年寄り達 …7分40秒 ⑦「ここで死のう」と逃げずに地元に残った …5分54秒 ⑧死んだ人が飛んでくる中、家族と逃げた戦争 …6分39秒 ⑨戦争で失った平和な生活と家族の命 …5分55秒 ⑩戦火が激しくなるまで、女性も重い弾薬の木箱を運んでいた …8分41秒	79分11秒
平和のウムイNo.9	①平田 初枝 ②長嶺 春子 ③嘉手納 良幸 ④比嘉 妙子 ⑤知念 美津子 ⑥池宮 繁子 ⑦仲宗根 義尚 ⑧儀保 宜裕 ⑨嘉手納 トシ子 ⑩島袋 満英	平和のウムイDVD No.080-089		①広島へ疎開して感じていた家族への想い …8分59秒 ②壕を追い出され、隣にいた友人が亡くなって …7分36秒 ③10月10日空襲から始まった戦争の怖さ …8分19秒 ④大阪大空襲の経験と母から聞いた沖縄戦 …13分01秒 ⑤日本兵と間違われ、叔母親子が撃たれて死んだ …9分58秒 ⑥サイパンの海に飛び込んで人間のクッションで助かった …10分46秒 ⑦ハワイ帰りの親戚に助けられた命 …10分15秒 ⑧避難中は日本兵、戦後は米兵の非道を目の当たりに …9分21秒 ⑨伊江島で体験した10月10日空襲と避難生活での恐怖 …9分37秒 ⑩戦争はただごとじゃない。私たちがもう終わらさんといかん …10分	97分52秒
平和のウムイNo.10	①佐久本 喜範 ②町田 妙子 ③仲本 勝男 ④國吉 真正 ⑤平良 正男 ⑥宮里 光子 ⑦照屋 喜代 ⑧仲村 春静 ⑨大城 幸信 ⑩呉屋 定子	平和のウムイDVD No.090-099		①米軍の物資をかすめとりながら飢えをしのいできた …10分00秒 ②戦争で犠牲になった学童疎開の子供たちの想い …10分00秒 ③優しくしてくれた日本兵と別れて北部へ …7分58秒 ④フィリピンでの労働作業から戦後沖縄へ …7分33秒 ⑤15歳で台湾で漁師になり、アジア海域で戦争を体験した …9分32秒 ⑥娘を日本兵に殺されそうになったテナアンでの避難体験 …10分45秒 ⑦明日は死ぬかもしれないから1日1日を一生懸命に生き抜いてきた …12分10秒 ⑧本当は語りたくない、異常が日常の戦争体験 …9分25秒 ⑨民間人には用意されなかった毒ガスマスク …8分21秒 ⑩南洋での平和な日常が激戦地へ。そこで見た親の愛 …9分51秒	95分35秒



NO.	証言者	タイトル	立場	解説	時間
平和のウムイ No. 11	①眞喜志 初枝 ②棚原 富士子 ③宮城 善正 ④富名腰 松子 ⑤平良 良昭 ⑥渡久地 政吉 ⑦友寄 信介 ⑧島仲 花枝 ⑨伊計 盛仁 ⑩宮城 敏子	平和のウムイDVD No.100-109		①子を連れて逃げた戦争と、ご主人への想い …9分48秒 ②爆風で飛ばされた弟、下敷きになった母 …10分15秒 ③生き別れの母親に偶然に再会 …9分40秒 ④南城市玉城での避難体験 …9分27秒 ⑤記憶なき体験者として継承、そして次代に受け渡すこと …8分46秒 ⑥疎開するため乗った船が攻撃を受けた体験 …9分55秒 ⑦神奈川での学童疎開体験と戦後の沖縄の復興 …10分35秒 ⑧中国と東京で看護師として従軍した経験 …9分38秒 ⑨避難壕での生活と捕虜になった後の収容所での生活 …9分40秒 ⑩激しい攻撃のなか島尻を逃げまどう …9分40秒	97分24秒
平和のウムイ No. 12	①東 幸信 ②東 清子 ③亀島 義侑 ④亀島 末子 ⑤大城 昭子 ⑥比嘉 光義 ⑦知念 栄 ⑧瑞慶覧 美智子 ⑨照屋 盛行 ⑩糸数 雄介	平和のウムイDVD No. 110-119		①浦添から普天間、首里と激戦の中をかいくぐって南下 …9分55秒 ②戦地に行った兄の帰りを何年も待った母 …7分56秒 ③那覇から北谷、そして久志、石川へ逃避行 …8分07秒 ④壕に残した父との再会、決め手は着物の襟 …7分29秒 ⑤一本の松の木が分けた運命 …7分24秒 ⑥戦争体験は思い出したくない事も多いほどつらいもの …11分50秒 ⑦空腹でハブやゴキブリも口にしたら …10分05秒 ⑧情報のない中、上陸した米軍と鉢合わせに …9分41秒 ⑨幼い目から見た戦争の光景、兵隊たち …9分53秒 ⑩リーダーが誰か1人でも白旗を掲げる覚悟があったら、あんなに大勢が死ななくて済んだ …12分22秒	94分42秒
平和のウムイ No. 13	①玉那覇 香代子 ②崎濱 秀徳 ③古謝 厚雄 ④仲村 安正 ⑤譜久里 廣貞 ⑥喜久永 米正 ⑦盛吉 善晃 ⑧盛吉 鈴枝 ⑨並里 清弘 ⑩与那 永昌	平和のウムイDVD No. 120-129		①家族とはぐれた避難の道々を沢山の山の人達に助けられて …9分00秒 ②北部の山の中で愛馬も食料に …10分45秒 ③裸足で山中を逃げて家族親類35名全員が助かった …9分45秒 ④ご飯を食べるために、危険を承知で水汲みを …9分32秒 ⑤艦砲射撃から久米島を救ってくれた先輩 …7分34秒 ⑥米軍よりも日本軍が恐かった …6分35秒 ⑦嘉手納での空襲体験と久米島での従軍体験 …8分52秒 ⑧久米島での避難体験 …9分29秒 ⑨母はみずから我が子に手をかけた …10分56秒 ⑩那覇の10.10空襲と久米島での日本軍からの命令 …9分33秒	92分1秒
平和のウムイ No. 14	①盛吉 ハツ ②山里 昌朝 ③伊是名 秀英 ④金城 冴子 ⑤安里 善好 ⑥大城 道子 ⑦新田 美津子 ⑧上地 武雄 ⑨上地 千恵子 ⑩西平 幸子	平和のウムイDVD No. 130-139		①戦地にいる兄の無事を祈り続けた母 …9分13秒 ②横柄で恐ろしい日本兵 …9分7秒 ③久米島から通信兵として名護へ …10分02秒 ④母に手を引かれて艦砲射撃の火を避け生きのびた大切な命 …9分47秒 ⑤マラリアで母を亡くし、戦争孤児に …9分59秒 ⑥戦争中に生まれて、母が語ってくれた戦争 …10分15秒 ⑦広島での疎開と石川(沖縄)に引き揚げて …6分57秒 ⑧シムクガマで助けられた命 …11分10秒 ⑨運命の分かれ道、シムクガマとチビチリガマ …10分15秒 ⑩黒焦げの両親をあとに子どもだけで逃避行 …10分14秒	96分59秒

NO.	証言者	タイトル	立場	解説	時間
平和のウムイ No. 15	①大城 光盛 ②今帰仁 千代子 ③嶺井 伸裕 ④比嘉 君子 ⑤宜野座 初子 ⑥新垣 春子 ⑦宮城 巳知子 ⑧呉屋 善孝 ⑨平良 静江 ⑩山川 キヨ	平和のウムイDVD No.140-149		①毎日、人が亡くなっていった収容所の記憶 …9分39秒 ②疎開先のヤンバルで、米軍に追われ山の中を逃げまわる …9分32秒 ③戦争の混乱で同級生よりも遅れて復学 …11分02秒 ④アメリカ兵と物々交換で飢えをしのいだ …6分1秒 ⑤家族が死んでも悲しんではいけない、逃げなくては …9分37秒 ⑥戦争は絶対に起こしてはいけない。ばあばの一生のお願いです …9分56秒 ⑦ずいせん学徒隊として第一線で多くの友を亡くした辛さ …9分1秒 ⑧想像を絶する北部での収容所生活 …7分30秒 ⑨空襲の時が一番恐かった(地域によって異なった久米島の戦争)。 …6分27秒 ⑩恐怖だった防空壕での生活 …6分15秒	85分00秒
平和のウムイ No. 16	①城田 盛昌 ②本永 昌健 ③安里 マサ ④中村 昌昭 ⑤安村 政子 ⑥上江洲 仁芳 ⑦佐久田 正雄 ⑧佐久本 正徳 ⑨新里 昌永 ⑩宇江城 昌英	平和のウムイDVD No. 150-159		①日本兵の死体をジープで引っ張っていた米軍 …6分59秒 ②久米島に上陸したアメリカ軍より日本軍の隊長が怖かった …9分31秒 ③自分も死んだ方がいいと思ひ、モルヒネを注射したけれど …10分1秒 ④カズオ君を忘れない！！ …10分51秒 ⑤英語が話せる人がいたおかげで助かった …7分41秒 ⑥久米島から伊江島、そして津嘉山で飛行場、防空壕づくりに動員されて …10分26秒 ⑦移動の歩兵に黄燐弾の毒ガス攻撃 …7分31秒 ⑧台湾にて、無鉄砲に小銃で応戦した日々 …8分54秒 ⑨乗船した航空母艦千歳がレイテ沖海戦で沈没 …10分25秒 ⑩南洋テニアン島での避難体験 …9分10秒	91分29秒
平和のウムイ No. 17	①佐久田 恵美子 ②佐久田 直広 ③翁長 アヤ子 ④川上 真栄 ⑤川上 ツル ⑥宮城 光吉 ⑦上地 照子 ⑧久貝 シゲ ⑨本村 キミ子 ⑩花城 愛子	平和のウムイDVD No. 160-169		①空腹と孤独の疎開生活 …7分11秒 ②米軍案内係をスパイ容疑で殺す …9分56秒 ③赤ちゃんを助けてやりたかった …7分4秒 ④戦争と差別 …7分9秒 ⑤コンペイトウと芋の交換 …5分22秒 ⑥同級生の半分以上が死亡 …7分44秒 ⑦最初から勝てない戦いだっただ。 …8分2秒 ⑧人の肉の破片を箸でつまんで埋葬した …7分4秒 ⑨女子挺身隊、働きずくめの日々、宮古島 …6分6秒 ⑩食糧難の台湾疎開と高熱からの生還 …6分39秒	72分17秒
平和のウムイ No. 18	①伊良部 繁夫 ②浜川 實 ③上里 栄 ④与那嶺 キク ⑤大浦 ヒデ ⑥上里 寛昌 ⑦上地 キク ⑧翁長 良子 ⑨新城 昌章 ⑩與那覇 トヨ	平和のウムイDVD No. 170-179		①海上で燃え盛るたくさん炎 …5分3秒 ②戦後も続く被害。爆薬で失明した父 …8分30秒 ③マラリアや食料不足で苦しんだ南静園での体験 …9分46秒 ④横穴式の防空壕で見た機銃掃射 …5分50秒 ⑤非常に心の大きな傷となった沖縄戦 …8分15秒 ⑥死ぬのは怖くなかった。アメリカに勝つと思ってた …7分17秒 ⑦忘れられない、壁に張り付いた隣のおばあ肉片 …9分25秒 ⑧敗戦後、1人ずつ見つからないように船に乗り台湾から引き揚げて …5分25秒 ⑨戦争教育を受けた少年時代 …8分57秒 ⑩防空壕で凌いだ空襲、食べ物は自給自足 …5分33秒	73分45秒

NO.	証言者	タイトル	立場	解説	時間
平和のウムイ No. 19	①久貝 義雄 ②玉元 春子 ③玉元 ヨシ子 ④洲鎌 せつ子 ⑤銘苅 和子 ⑥上里 和子 ⑦山下 久雄 ⑧比嘉 文雄 ⑨名嘉 トヨ ⑩名嘉 廣光	平和のウムイDVD No. 180-189		①母と姉の言いつけをひたすら守って生き延びた …6分41秒 ②畑から戻るといえる水瓶が全て破壊 …5分48秒 ③農作からの帰り道に起きた空襲 …6分38秒 ④食料不足に苦しんだ伊良部島 …5分57秒 ⑤浦添から北部・ヤンバルへ、5日を掛けて夜通し歩いた …6分10秒 ⑥6歳(数え年)にして、死の地獄を這い回った那覇と座間味での戦争体験 …9分40秒 ⑦勤労働員で働かされた後、宮崎に疎開、寒さと空腹に耐えた …9分40秒 ⑧「捕まったら殺される」と聞いていたアメリカ兵に親切にされて …7分5秒 ⑨伊平屋島での戦争体験 …9分32秒 ⑩伊江島で飛行場づくり、伊平屋島での収容所体験 …7分11秒	77分33秒
平和のウムイ No. 20	①具志堅 貞子 ②新崎 和枝 ③大城 千代子 ④大城 惟志 ⑤大城 実 ⑥当真 梅子 ⑦城間 千津子 ⑧城間 治子 ⑨真栄里 泰山 ⑩照屋 苗子	平和のウムイDVD No. 190-199		①自分をかばってくれた日本兵のおかげで助かった命 …9分47秒 ②集団死で家族を亡くして …7分13秒 ③防空壕に投げ込まれたガスで両親は死亡 …11分20秒 ④八重岳に逃れるが、逃げようとする民間人を米軍が一斉射撃した …10分23秒 ⑤人間が人間でなくなっていく感覚、それが一番恐ろしいこと …9分00秒 ⑥死ぬ必要のなかった姉と兄。戦場で失った悲しみは今も癒えない …9分33秒 ⑦火炎放射器で焼かれそうになる恐怖を体験して …7分46秒 ⑧大阪での戦争体験と終戦後沖縄での苦労 …8分2秒 ⑨戦中に生まれた乳飲み子の自分を必死で守った母への感謝 …11分12秒 ⑩砲弾から逃げる中で感じた母の強さ …9分46秒	96分08秒
平和のウムイ No. 21	①田中 順一 ②仲里 ハル ③喜友名 千代子 ④銘苅 盛栄 ⑤大濱 ヨシ子 ⑥田本 徹 ⑦細工 忠郎 ⑧翁長 常勇 ⑨玻座真 武 ⑩小浜 ナエ子	平和のウムイDVD No. 200-209		①小さな子供達は栄養失調で亡くなっていった …10分54秒 ②学徒隊の看護婦として、兵士の「母ちゃん」を数えた日々 …7分36秒 ③戦中は兵隊の食事係、戦後は米軍内で必死に働いた …6分30秒 ④3歳の泣く弟を毒で殺され、郷内にはガス弾を撃ち込まれて …8分41秒 ⑤マラリアで失われた家族たち。父は仏壇の前でだけ泣いた …6分29秒 ⑥石垣島でのマラリア渦。母は乳飲み子を残して …8分16秒 ⑦幼い子どもの目で見た避難生活 …10分55秒 ⑧軍隊の無謀さと非情さを実感 …9分9秒 ⑨子どものたわいもない行動が生死をも分けた …8分41秒 ⑩終戦後も続くマラリアの恐怖 …8分35秒	85分46秒
平和のウムイ No. 22	①真栄城 玄育 ②石垣 正子 ③嵩本 安意 ④潮平 正道 ⑤崎枝 孫知 ⑥浦本 昇 ⑦舟道 善一 ⑧大濱 文子 ⑨上原 好子 ⑩南 全昌	平和のウムイDVD No. 210-219		①戦中・戦後の食糧難を家族で支えあう …9分02秒 ②疎開船が撃沈され、無人島に漂着して …9分28秒 ③台湾の人達の親切で家族は生き延びた …9分 ④マラリアと戦った八重山の人々 …9分38秒 ⑤兵士としてビルマ各地で戦った …7分59秒 ⑥病気の母と逃げた空襲とマラリアの被害 …5分30秒 ⑦殆どの人はマラリアで亡くなった …6分24秒 ⑧台湾で空襲を凌ぎ、命がけで戻った石垣島 …10分43秒 ⑨家族を次々にマラリアで亡くすなか、生き延びて …11分59秒 ⑩爆撃から逃れてもマラリアで命を落とした …10分05秒	89分48秒

NO.	証言者	タイトル	立場	解説	時間
平和のウムイ No. 23	①田本 房子 ②鳩間 真吉 ③宮城 吉子 ④山田 善郎 ⑤山田 善照 ⑥宮良 祐成 ⑦大工 スミ子 ⑧宮良 栄進 ⑨新 網枝 ⑩通事 クニ子	平和のウムイDVD No. 220-229		①野戦病院での従軍体験 …9分59秒 ②毎日、マラリアで亡くなっていった西表島での避難生活 …7分3秒 ③日本軍に強制疎開させられたのはマラリア危険地帯の西表島だった …6分3秒 ④石垣島北部の山岳地帯での避難体験とマラリアの苦しみ …6分58秒 ⑤石垣島では戦闘より食糧難とマラリアで人が死んだ …9分35秒 ⑥戦争とは人を殺すこと、世の中を破壊すること …8分45秒 ⑦「ひもじい」妹は盗んだご飯を飲み込めず 石垣島マラリア渦 …9分28秒 ⑧マラリアで家族を亡くした体験と戦時中の石垣島の状況 …9分6秒 ⑨日の丸振って送った人が傷ついて戻ってくるのを涙で迎えて …9分16秒 ⑩弟は出発の日に逝った。石垣マラリア …6分26秒	82分36秒
平和のウムイ No. 24	①中村 功 ②吉嶺 全一 ③島袋 由美子 ④古堅 宗徳 ⑤渡口 彦信 ⑥與古田 光順 ⑦友利 恵勇 ⑧新本 トヨ ⑨平仲 千代子 ⑩赤嶺 キヨ	平和のウムイDVD No. 230-239		①疎開先での過酷な日々 …9分29秒 ②死体への感覚も麻痺 …9分8秒 ③スパイとして隣人を味方に殺される恐ろしさと悔しさ …9分38秒 ④終戦直後、蒋介石軍と折衝し、台湾へ疎開した八重山島民を連れ帰ることに成功 …9分8秒 ⑤不足した物資での惨めな戦いに欲も何も無くなって …9分25秒 ⑥かわいい妹たちは自分の名を叫びながら摩文仁で死んでいった …10分0秒 ⑦授業もなく掩体壕づくり、空襲で食事のままならず …8分37秒 ⑧歩けるようになった時、娘は墓の中だった。石垣マラリア …9分29秒 ⑨両親を失った戦争、兄妹で支えあって生き抜いた戦後 …8分52秒 ⑩疎開せずに南部に残り、家族を失う …12分48秒	104分22秒
平和のウムイ No. 25	①新垣 源吉郎 ②眞 嗣長 ③垣花 武信 ④金城 盛作 ⑤平敷 公子 ⑥平敷 兼貴 ⑦翁長 安子 ⑧保志門 繁 ⑨上江田 清助 ⑩石垣 博孝	平和のウムイDVD No. 240-249		①死を覚悟した軍国青年 …9分47秒 ②恩納村の山中でも激戦 …10分5秒 ③「自決」の場所を求めて …9分8秒 ④殴打して憎しみを植えつける軍国主義教育が怖かった …8分25秒 ⑤「ちゃーかちみー」最後の疎開船を降りそびれ・那覇牧志 …7分51秒 ⑥苦心の検査資料は終戦で火の中に・武庫川「紫電改」工場 …7分3秒 ⑦父と共に逃げられなかった軍国少女の苦悩 …8分28秒 ⑧南部の戦地を逃げ回り、沢山の家族を失いました …9分43秒 ⑨ヤンバルへ避難したが、食料がなくて栄養失調に …8分35秒 ⑩戦争と教育 …9分20秒	95分16秒
平和のウムイ No. 26	①石垣 信亨 ②仲座 初枝 ③廣田 辰雄 ④大浜 節 ⑤島村 修 ⑥玉城 功一 ⑦古堅 節 ⑧松竹 昇助 ⑨松竹 美智江 ⑩内盛 スミ	平和のウムイDVD No. 250-259		①台湾で軍事教育を受けた体験 …7分29秒 ②終戦後も飢餓やマラリアに苦しむ …11分25秒 ③アメリカ兵を撃つと機関銃を持たされた …6分48秒 ④空襲の激しかった鳩間島での教員生活 …9分16秒 ⑤「自分が送り出した子どもをみんな殺してしまった」 …9分48秒 ⑥軍命の強制疎開が引き金 …10分17秒 ⑦マラリアを克服しながら弟妹の親にもなり姉にもなって …8分13秒 ⑧日本軍の勝利を確信し続けて …5分29秒 ⑨弾薬ばかり流れてきた竹富島 …7分49秒 ⑩機銃に追いかけられ、変装して兵士を慰問 …9分47秒	86分21秒



NO.	証言者	タイトル	立場	解説	時間
平和のウムイ No. 27	①内盛 勇 ②潮平 俊 ③小浜 カツ ④石垣 光 ⑤当山 茂 ⑥大石 益子 ⑦伊是名 米 ⑧前迎 スミ ⑨濱元 朝金 ⑩喜納 昌榮	平和のウムイDVD No. 260-269		①ピンタ乱れ飛ぶ軍隊生活・西表島 …7分30秒 ②戦争と平和の意味を問い続ける …10分08秒 ③生きて戦後を迎えるも、マラリアで失った母と妹 …5分44秒 ④台湾で戦争を凌ぎ、急いで帰った石垣島 …5分45秒 ⑤いつ死ぬかと毎日別れの言葉を口にしながら逃げた …9分44秒 ⑥マラリアで母と祖父を亡くした戦争 …12分18秒 ⑦マラリアで泣きながら死んでいく兵士たち …9分59秒 ⑧酷かった戦後のマラリア …6分18秒 ⑨家賃を稼いだ「戦果アギヤー」 …8分32秒 ⑩艦砲射撃の中生き残ったふたり …9分40秒	82分50秒
平和のウムイ No. 28	①東江 康治 ②大山 千恵子 ③玉城 朝子 ④吉田 ツル子 ⑤吉田 政一 ⑥上原 ヨシ ⑦大城 清子 ⑧諸見 孝成 ⑨幸地 とみ ⑩嶺井 巖 ⑪我那覇 はる	平和のウムイDVD No. 270-280		①少年兵として参加した戦争 …9分41秒 ②避難先の民家に残された食料や着物を分け合った …10分11秒 ③戦場で姉と兄を失った悲しみは癒えない …9分55秒 ④米兵に投降を呼びかけられたが出て行かなかった …5分16秒 ⑤摩文仁で切り込み隊に。しかし、敵に出会えなかった …8分58秒 ⑥「死んだはずの夫が帰ってきた」 …9分41秒 ⑦勉強ができなかった敗戦後の生活 …7分07秒 ⑧マリアナ諸島からの帰還 …10分24秒 ⑨南洋の島々を必死で逃げ回った避難生活 …9分15秒 ⑩傷病兵・助けられなかった命 …8分42秒 ⑪親を失い、妹たちのためにサーター車を回して …6分50秒	100分41秒
平和のウムイ No. 29	①神谷 吉子 ②安慶名 三子 ③崎浜 清子 ④玉元 トヨ ⑤眞栄田 宗仁 ⑥徳田 球美子 ⑦儀間 フサエ ⑧上原 永徳 ⑨渡名喜 文子	平和のウムイDVD No. 281-289		①横浜の軍需工場で働いていた時の戦争体験 …9分20秒 ②川に流され行く子らの叫び・フィリピン、タモガン山 …5分11秒 ③戦争の犠牲になる子供たち …10分4秒 ④爆撃で何もかも失う。戦後は苦しかった …9分33秒 ⑤避難のため夜通しヤンバルへ …8分1秒 ⑥日本兵による住民の殺害、戦争の残した傷跡 …9分44秒 ⑦ゴミのように埋められて・二見マラリア …7分59秒 ⑧戦後の沖縄の復興と収容所での暮らし …7分13秒 ⑨従軍看護婦として体験した悲惨な沖縄戦 …8分50秒	75分55秒
平和のウムイ No. 30	①名城 郁子 ②普久原 幸 ③城間 善徳 ④興座 章健 ⑤宮城 初枝 ⑥田場 典三 ⑦平良 啓子 ⑧仲山 忠享 ⑨平良 進 ⑩伊志嶺 春勇 ⑪目取真 和子	平和のウムイDVD No. 290-300		①戦後の満州からの逃避行 …9分55秒 ②比屋根での避難と投降体験 …9分25秒 ③母娘を引き合わせた墓標がわりの着物 …6分51秒 ④入隊する前日の最後の食事 …9分51秒 ⑤沖縄に残った優秀な同級生をたくさん亡くした …11分09秒 ⑥日本とアメリカの差は大きすぎた …8分35秒 ⑦対馬丸の沈没と遭難体験 …9分59秒 ⑧軍国主義教育と石垣島での避難体験、そしてマラリア …11分58秒 ⑨航空隊での従軍体験と西表島の開拓 …11分01秒 ⑩終戦2年度、野ざらしの遺骨・糸満 …12分5秒 ⑪混乱の中を逃げまわり捕虜に、訳も分からず怖くて震えていた …6分18秒	107分7秒

NO.	証言者	タイトル	立場	解説	時間
平和のウムイ No. 31	①西原 友男 ②棚原 千代 ③津嘉山 寛喜 ④石川 正一 ⑤比嘉 茂子 ⑥大湾 トキ ⑦金城 綾子 ⑧宮城 親太郎 ⑨宮城 親昭 ⑩仲宗根 正子	戦争体験証言収録DVD No.1-10		①「母と二人で熊本へ疎開」・・・9分5秒 ②「おっかーも 兄さんも シンエイも、さっとうくとうや(殺されているから)・・・9分1秒 ③「僕は胸のあたりに血がべっとりと、ついているもんだから・・・10分9秒 ④「兵隊さんが日本刀を振り回して、おにぎりを要求・・・10分51秒 ⑤「夜になって着いたところが摩文仁・・・」・・・8分1秒 ⑥「軍医さんは、戦場になって危ないから疎開しなさいと」・・・12分38秒 ⑦「艦砲射撃の中、母がお産をもよおしたんです」・・・10分28秒 ⑧「家が貧しく、あなたは兵隊に行って暮らさない」・・・5分58秒 ⑨「俺は命拾いした、海軍行かなくて」・・・5分30秒 ⑩「線香を上げてお願いしてお墓に入りました」・・・9分7秒	90分48秒
平和のウムイ No. 32	①大嶺 初子 ②与那覇 博敏 ③垣花 義夫 ④与那覇 トミ ⑤楚南 正一 ⑥池村 恵光 ⑦大城 伊佐子 ⑧伊佐 周光 ⑨伊佐 善亀 ⑩玉城 幸助	戦争体験証言収録DVD No.11-20		①「父が手榴弾を、これで皆死ぬと大事に持っていた」・・・9分40秒 ②「僕の屋敷にも爆弾2発投下されて」・・・8分2秒 ③「グラマン機が落ちてきて三人畑に伏せた」・・・11分22秒 ④「家には将校が入り、庭にはテントを張った兵隊さん」・・・8分24秒 ⑤「若い兵隊が多く、栄養失調でかわいそうだった」・・・8分26秒 ⑥「兵隊が、土足で入って来て・・・8分18秒 ⑦「もう、玉碎の命令だからね、手榴弾抜いたけど不発」・・・9分42秒 ⑧「手榴弾で死に損なったらカミンリで首を切れ」・・・14分46秒 ⑨「しばらくして聞こえたのは母の声だけ」・・・12分13秒 ⑩「壕内を直撃ですから、修羅場ですから」・・・14分0秒	104分53秒
平和のウムイ No. 33	①上運天 賢盛 ②川崎 初子 ③上間 繁子 ④比嘉 武次 ⑤永山 幸榮 ⑥我喜屋 澄子 ⑦喜屋武 トシ子 ⑧横田 チヨ子 ⑨平良 善一 ⑩宮里 博	戦争体験証言収録DVD No.21-30		①「手榴弾4個渡されて斬り込みに行く寸前に」・・・10分35秒 ②「壕を出る前に玉碎命令が出たんですよ」・・・7分21秒 ③「お父さんが手榴弾を抜くと皆一緒に死ぬから」・・・8分21秒 ④「父と弟が即死状態でやられた」・・・11分25秒 ⑤「お前出たら殺されるよ」・・・11分49秒 ⑥「この子を置いて行けないからここで死のう」・・・9分59秒 ⑦「子どもが泣いたら兵隊が、海へ投げなさいと」・・・6分33秒 ⑧「父が最後に、どんな事があっても沖繩に帰れよ」・・・10分52秒 ⑨「あの時は死体を見ても驚かなかった」・・・8分45秒 ⑩「死ぬなら一緒だと残ったんです」・・・8分22秒	94分2秒

NO.	証言者	タイトル	立場	解説	時間
平和のウムイ No. 34	①海江田 登美子 ②新川 初子 ③仲本 政子 ④国吉 兼三 ⑤大城 盛俊 ⑥呉屋 安雄 ⑦西平 守貞 ⑧山城 賢孝 ⑨小北 英子 ⑩山城 重信	戦争体験証言収録DVD No.31-40		①「那覇の街が真っ赤に燃え上がっていた」・・・9分45秒 ②「兵隊さん 一緒に自決お願いします」・・・10分35秒 ③「全部連れていかれた、スパイだと言って」・・・8分48秒 ④「生きるためなら何でも食べました」・・・9分1秒 ⑤「日本兵がガマに入って来て追い出すわけ」・・・9分9秒 ⑥「もうみんなで泣き叫んで、地獄ですよ」・・・9分15秒 ⑦「あれは熱かった、火炎放射機でバー」・・・8分48秒 ⑧「アメリカ人を殺すと竹槍を持っていた」・・・17分49秒 ⑨「日本は必ず勝つから5人の血で必勝と書け」・・・12分56秒 ⑩「校庭に全部穴掘って戦車を入れてた」・・・7分47秒	103分53秒
平和のウムイ No. 35	①金城 罔弘 ②宮国 弘栄 ③仲田 清一郎 ④照屋 佳男 ⑤伊波 盛茂 ⑥山内 武 ⑦新城 敏晴 ⑧名護 弘一 ⑨伊波 健 ⑩長田 智子	戦争体験証言収録DVD No.41-50		①「どうせ死ぬなら生まれた所で・・・と思った」・・・9分41秒 ②「高い木に登って遊んでいたら弾が当たった」・・・8分43秒 ③「真っ暗で、掴まった丸太が波でグルグル回ります」・・・11分34秒 ④「船首が上を向き、大きな音とともに」・・・8分19秒 ⑤「甲板に出るといことで、女子供が泣き出す」・・・8分50秒 ⑥「疎開というので300人ぐらい、オンボロの船で」・・・12分44秒 ⑦「空が焼けている、真っ赤に焼けている」・・・10分39秒 ⑧「沖縄に帰りがかった、毎日帰りがかった」・・・9分42秒 ⑨「てっきり日本の飛行機の演習だろうと」・・・10分24秒 ⑩「宮崎はいっぱいで、台湾にしよう」・・・8分7秒	98分43秒
平和のウムイ No. 36	①津嘉山 寛喜 ②大城 伊佐子 ③海江田 登美子 ④大城 盛俊 ⑤伊波 健 ⑥高良正勝 ⑦大城藤六 ⑧金城貞子 ⑨嘉手納トシ子 ⑩玉城功一	平和のウムイ (英語字幕付き) DVD ○「戦争体験証言収録事業」より5件 No. 3, 17, 31, 35, 49  ○「家族に語り継ぐ平和のウムイ事業」より5件 No. 3, 43, 68, 88, 255		①「僕は胸のあたりに血がべっとりついてるもんだから」・・・10分13秒 ②「もう、玉砕の命令だからね、手榴弾抜いたけど不発」・・・9分57秒 ③「那覇の街が真っ赤に燃え上がっていた」・・・9分45秒 ④「日本兵がガマに入って来て追い出すわけ」・・・9分9秒 ⑤「てっきり日本の飛行機の演習だろうと」・・・10分24秒 ⑥「背中を魚に噛まれて漂流」・・・15分18秒 ⑦「子どもと年寄り、戦争では一番犠牲になるさ」・・・9分26秒 ⑧「終戦を知らずに9月まで山奥に」・・・9分00秒 ⑨「伊江島で体験した10月10日空襲と避難生活での恐怖」・・・9分37秒 ⑩「軍命の強制疎開が引き金」・・・10分17秒	103分6秒

NO.	証言者	タイトル	解説
日系二世1 (J)	(1) ヨシコ・ウエチ	学徒の証言 (日本語版)	沖縄・石垣出身/オアフ島在住/「決して死ぬじゃないよ・生きなさい」
	(2) アイリス・トヨコ・カネシロ		フィリピン出身/オアフ島在住/「ヤモリを焼いて食べる避難生活」
	(3) ジュディ・ハルコ・セガワ		沖縄・名護市出身/カウアイ島在住/「隊長殿にたばこを吸わせたかった」
	(4) ロバート・チョウスケ・キシヤノ		沖縄出身/オアフ島在住/「I'm school boy」～ 学徒通信兵としての沖縄戦～
	(5) マサオ・キンジョウ		沖縄出身/オアフ島在住/「爆雷を背負って戦車を待つ」～山原でゲリラ戦を展開～
	(6) ミノル・テルヤ		ハワイ出身/オアフ島在住/「海軍にあこがれた軍国少年」
日系二世1 (E)	"	学徒の証言 (英語版)	"
日系二世2 (J)	(1) タケジロウ・ヒガ	日系通訳兵の証言 (日本語版)	オアフ島出身/オアフ島在住/「一発も銃を撃たずメガホンと辞書で役目を果たせたのが誇り」
	(2) ハロルド・オクムラ		ハワイ島・ヒロ出身/マウイ島在住/「救えなかった姉弟」～何もできなかった。それが戦争だ～
	(3) ハーバート・ヤナムラ		ハワイ島・コナ出身/オアフ島在住/「あのねえ、もう少し待っていただけませんか？」～救えなかった命～
	(4) アキラ・タナカ		ハワイ島出資/オアフ島在住/「強制収容所に連行された母」～アメリカに忠誠を誓って従軍～
日系二世2 (E)	"	日系通訳兵の証言 (英語版)	"



NO.	証言者	タイトル	解説
日系二世3 (J)	(1) シンエイ・ギマ	日系通訳兵の証言 (日本語版)	ハワイ島出身/オアフ島在住/「母なる祖国沖縄で」～敵味方で戦った沖縄戦～
	(2) スタンリー・セイショウ・セガワ		カウアイ島出身/カウアイ島在住/「すばらしいドクターとの出会い」～収容所の病院で～
	(3) タダシ・フクモト		ハワイ島出身/オアフ島在住/「義烈空挺隊の攻撃」～乗組員を尋問～
	(4) ヨシノブ・オオシロ		オアフ島出身/オアフ島在住/「初めての祖国、祖母との対面」
	(5) トム・ヤマダ		マウイ島出身/マウイ島在住/「一発も銃を撃たずメガホンと辞書で役目を果たせたのが誇り」
日系二世3 (E)	〃	日系通訳兵の証言 (英語版)	〃
日系二世4 (J)	(1) ショウメイ・カネシロ	強制収容所の証言 (日本語版)	マウイ出身/オアフ島在住/「ツール・レイクでの収容所生活」
	(2) ヒデオ・カネシロ		オアフ島出身/オアフ島在住/「ツール・レイク収容所での生活」～ノーノーボーイとして～
	(3) モリス・ヤマサト		ペルー、リマ出身/オアフ島在住/「私達家族はアメリカ政府に誘拐された」
	(4) キャロライン・カワマタ		アメリカ・オレゴン州出身/オアフ島在住/「収容所の中の日本」
日系二世4 (E)	〃	強制収容所の証言 (英語版)	〃